

天草製作所のシューホーン

気持ちよく外に出かけられない日々が続きましたが、少しずつ、外に目を向ける機会も増えてきました。いつもの仕事着や、お気に入りの衣服に身を包み、さあ出かけようと玄関の扉を開く前に、足元がきちんと整っていると、気分もグッと上がっていきます。

「お出かけ前のほんの一瞬に、気持ちを高めてくれるアイテムがあったらいいな」そんな思いから、〈RESH. × 天草製作所 オリジナルシューホーン〉は生まれました。

天草の海の色である藍色を商品カラーに据え、革はドイツの有名タンナーであるワインハイマー社製の最高級素材を使用。職人たちによって一つ一つ丁寧に手作りで仕上げられているため、使いやすさだけでなく丈夫で長持ちする作りになっています。

玄関に一つ置いておきたいロングサイズと、持ち運びにも便利なショートサイズの 2 種類をご用意しました。使用するシーンに合わせて、最適なサイズをお選びいただけるようになっています。

是非、お世話になった方へのプレゼントに、頑張った自分へのご褒美にいかがでしょうか。



アマクサファクトリー印の商品は永久保証の対象です。



RESH. × 天草製作所
オリジナルシューホーン
short / 153mm ¥24,750 (税込)
long / 410mm ¥29,700 (税込)
※限定50本

ワインハイマーの革づくりに対する考え、歴史、製法

この度オリジナルシューホーンを制作するにあたり、最高級のものをお届けするため選んだ革は、ワインハイマー社の「ワープロラックス」(Waprolux)。同社が作っている最高級のカーフレザーで、クロム鞣しされる革の中でもトップレベルに選定します。

クロム鞣しを開発した国はドイツ。100 年ほど前に開発してから現在まで、技術、生産管理とも世界最高水準の国になります。そのドイツでもカールフロイデングル社は名門中の名門タンナーで、世界の一流有名ブランドで採用されてきましたが、ドイツの環境配慮による制限からクロム鞣しの製造ができなくなり、皮革産業から撤退してしまいました。そして残されたスタッフ・職人が、カールフロイデングル社の技術と哲学を継ぐべく、新たに立ち上げたタンナーが現在のワインハイマー社です。そこで新たに開発されたのがワープロラックス。

ワープロラックスは世界の一流ブランドに採用されている最高級の革です。ワープロラックスに使われている革はカーフと呼ばれる生後 6 ヶ月までの仔牛。カーフスキンとも呼ばれるその革は、成牛と比べ繊維組織が緻密なため、目がきめ細かく、薄くて柔らかい革になります。仔牛のため、一頭から取れる面積も成牛に比べるととても小さく、流通量も当然少なくなります。そのため、希少性が高く、比例して価格も上がります。

このカーフという革をクロム鞣しすることによって、伸縮、弾力性がありながら柔軟でソフトな革に仕上げていくのです。吸水性が低く弾力があるため、水や汚れ、傷に強く、用途が広がっていくという特徴があります。そのカーフレザーの表面に型押しを行うことで、より革や汚れに強い特性へと仕上がっているため、今回の貴重なシューホーンに採用いたしました。

WEINHEIMER